



【問い合わせ】 町人権啓発福祉センター（役場人権推進課 人権推進係）
☎(293)7920

みんなが住みたいと思う町に していきたいですね。

のぐち いっせい
野口 一世さん (杉水)

今回、新しく部落解放同盟大津支部の支部長に就任された野口一世さんに話を聞きました。

支部の活動について教えてください。
53人の支部員で構成している部落解放同盟大津支部(以下支部)ですが、全体を5班に分けて定期的な執行委員会を開催し、支部の取り組みについて検討を重ねています。
また、差別をなくす運動のほかに、地域の交流を目的に町と協力しながら、グラウンドゴルフ大会の開催や町人権啓発福祉センター(以下センター)で夏に行われる人権ふれあいフェスティバル、春に行われる人権ふれあい文化祭などを共催し、交流の促進も行っています。
支部長として考えていることは何ですか？
33年間の同和対策事業特別措置法の成果と課題を見つめ直し、整理や総括をしながら、町と共にセンターを拠点にした人権啓発を展開していくことが大切だと考えています。また地域住民が明るく生活でき、この地域に住みたいと思えるような地域づくりが必要だと思い、改めて地域の繋がりを組み立てる必要があるのではないかと思っています。
今後、支部活動で取り組んでいきたいことは何ですか？
現在、源場区・つつじ台区・桜丘区で徐々に湧き上がってきているまち

づくりを南杉水人権のまちづくり協議会と協働して推進していく必要があると思います。支部が考えている「人権のまちづくり」とは何か？「まちづくり」とはこういうものかを支部員全体で学習し、一人ひとりに徹底して行きたいと思っています。
また、人権のまちづくりの推進と同時に、差別を無くすには何をすべきかを認識するために、支部員全員が勉強や意見を述べることが出来る場所をつくりたいと思います。そうすることで、一人ひとりが原点に帰り、何をしたいかなければならぬか考えることができると思っています。
町地域人権教育指導員(以下指導員)としても活躍していますが、活動で感じたことがあれば教えてください。
支部員として活動していた時期は、同和対策事業の要求などを主に行っていましたが、指導員として町と人権に関する啓発を一緒に行っていくうちに、行政の立場から見た支部の良い面、変えていかなければならない部分が見えてきました。今後は、指導員として感じたことも生かしながら、支部長としてセンターと共に学ぶ場を作っていかなければならないと思っています。

あなたの体は 本当に健康ですか？

平成20年4月からスタートした生活習慣病予防のための「特定健診」。特定健診は、加入している医療保険者が実施する生活習慣病予防のための健診です。健診を受けたことで、自分の健康状態に初めて気がついたという人も多くいたようです。生活習慣病は、ほとんどの場合自覚症状がないまま進行します。自覚症状が出たときには、病気がかなり進行し、簡単には治らない状態になっています。脳卒中や心臓病・腎臓病などの危険因子を発見できるのは健診だけなのです。

●受診して初めて知った腎不全

61歳のAさん。気付くような症状は全く無く、62歳になり、体がだるい、物が白っぽく見える、体のむくみや貧血、吐き気などの症状が現れます。病院で診察を受けると、入院・人工透析が必要との診断を受けることに。一番驚いたのはAさん。「いきなり透析になるなんて。もっと早く気付きたかった…」
Aさんの自覚症状がないうちに気付くにはどうすればよかったのでしょうか？
実は、**気付く方法があるんです！**
症状が出る前の腎臓の変化がわかる検査があるのです。症状が無いからと安心してはいけません。手遅れになる前に、今年度は健診を受けますよ。

●ふるさと総合健診(7月上旬・予約制)が始まります。国民健康保険や後期高齢者医療保険に加入している40歳以上の人であれば受診できます。特定健診・がん検診がセットになった健診です。
【料金】
74歳以下
男性 5,500円 女性 7,500円
75歳以上
男性 4,500円 女性 6,500円

●巡回健診(7月下旬から8月上旬)では、特定健診と大腸がん(検便)検診と肺がん(レントゲン)検診を同時に受けることができます。そして、30歳・35歳の節目にも特定健診と同じ内容の健康診査が受けられます。この機会にぜひ受診しましょう。

●健診(検診)の申し込みをした人には受診券・問診票を郵送します。まだ申し込みをしていない人も受診できますので、まずは電話で申し込みください。

自己負担金一覧

健診の日程・場所などは、
広報おおづ7月号でお知らせします。

■健診(検診)の自己負担金

検 診	74歳以下	75歳以上
肺がん検診	500円	200円
大腸がん検診(大便)	500円	200円

3歳児の 日本脳炎予防接種を おすすめします

平成17年5月以降、日本脳炎ワクチン予防接種の積極的なおすすめを中止していましたが、国の通達により新ワクチン(乾燥細胞培養ワクチン)による接種のすすめを再開します。なお、この接種は予防接種法に基づく定期接種です。
接種には、事前に必ず予約をして、保護者が連れて行ってください。予診票をお持ちでない人は、母子手帳を持参して、役場健康福祉課で予診票を受けとってください。
三種混合やMRワクチンを接種できる「委託医療機関」での接種になります。

●対象者
初回接種をする3歳児

日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスの感染によって起こる中枢神経(脳や脊髄など)の病気です。ヒトからヒトへの感染はなく、ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖した後、そのブタを刺したコガタカイエカなどがヒトを刺すことによつて感染します。東アジア・南アジアにかけて広く分布する病気です。

「はとぼっぼクラブ」がスタート!



今年度の「はとぼっぼクラブ」がスタートしました。今年も毎週金曜日の午前10時から町人権啓発福祉センター(児童館)で行います。スタート初日は、「はじめまして!」と題して参加者の交流を行いました。夏休みは、「夏休みスペシャル」と題してパン教室などいろいろな企画を計画していますので、皆さんの参加をお待ちしています。

人権ニュース

第19回大津町人権・同和教育推進大会

部落差別をはじめとする、あらゆる差別の現実に学び、日々を見つめながら、人権が尊重される地域づくりを推進するために大会を開催します。



たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

- 日時 7月3日(土) 午前9時30分開会
- 場所 町文化ホール
- 内容 「人権のまちづくり」の実践発表
～命の大切さを伝える～「むたゆうじ・ゆずり葉コンサート」